

令和 7 年度 記入例

特産品開発事業 : 「いちじくラーメン」の開発
高付加価値化等事業 : 「冷凍たこ焼き」の【量産体制の構築】と【高付加価値化】を行う場合の記入例

別記第1号様式(第8条関係)

令和●年●●月●●日

両面(表)

交付申請時

中間市長 様

住所 中間市中央●丁目●番●号
申請者 企業名又は法人名 中間開発株式会社
代表者職・氏名 代表取締役 商工 太郎
担当者 職・氏名 開発係長 観光 花子
電話番号 093-●●●-●●●●
電子メール aaaa@bbbb.co.jp

印

中間市特産品開発等事業補助金交付申請書

中間市特産品開発等事業補助金を受けたいので、中間市特産品開発等事業補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 補助金の名称 中間市特産品開発等事業補助金

2 補助金の交付申請額

・ 特産品開発事業(補助率3/4、補助限度額600万円) (単位:円)

補助対象経費 A	他の補助等 B	差引額 (A-B) C	補助率 D	C×D (1,000円未満切捨て 20万円未満は0) E	上限額 F	交付申請額 (EとFを比較して 少ない方の額) G
15,000,000	5,000,000	10,000,000	3/4	7,500,000	6,000,000	6,000,000

・ 高付加価値化等事業(補助率2/3、補助限度額100万円) (単位:円)

補助対象経費 H	他の補助等 I	差引額 (H-I) J	補助率 K	J×K (1,000円未満切捨て 20万円未満は0) L	上限額 M	交付申請額 (LとMを比較して 少ない方の額) N
1,200,000	0	1,200,000	2/3	800,000	1,000,000	800,000

3 他の補助その他の援助の活用の有無

有・無

(「有」の場合は、該当する補助その他の援助の名称及び事業内容並びに当該補助その他の援助に係る問合せ先を記入してください。)

補助金名: 福岡県●●●●●●補助金

事業内容: 福岡県産の材料を使用した特産品開発

補助事業者: 福岡県●●●課 TEL 092-▲▲▲-▲▲▲▲

《裏面有》

4 添付書類

- (1) 特産品開発事業実施計画書（別記第2号様式）
- (2) 高付加価値化等事業実施計画書（別記第3号様式）
- (3) 中間市特産品開発等事業補助金収支予算書（別記第4号様式）
- (4) 同意書兼誓約書（別記第5号様式）
- (5) 中間市税の滞納がない証明書
- (6) 役員名簿その他これに類するもの
- (7) パンフレット等の補助対象事業の概要が分かる資料
- (8) 見積書その他の補助対象経費の額が分かる書類

注1 (1) 及び (2) は、申請する補助対象事業分について添付すること。

注2 (6) は、申請者が法人である場合に添付すること。

注3 (7) は、当該書類がある場合に添付すること。

特産品開発事業実施計画書
（補助率3/4、補助限度額600万円）

1 特産品の内容

名称及び概要	名称：いちじくラーメン 概要：いちじくの果肉とエキスを使用した袋ラーメン
特徴及び セールスポイント	・ 中間市の名産である「いちじく」を使用した当商品の販売を通じて中間市の「いちじく」の知名度向上に繋がる。 ・ 商品パッケージに「中間市特産」という文字を入れる予定であり、中間市の商品だと認識されることが期待され、土産品の充実に貢献できる。 ・ 乾燥いちじく、ネギなどの具材が小袋に入った形で同封されている。 ・ 美容・健康に良いとされる成分が豊富に含まれている。 ・ ポイント券（商品に同封）を集めると、オリジナルどんぶりが貰える。
賞味期限、 耐用年数など	・ 賞味期限については、1年間を目標に開発する。 ・ 具材に使用する「乾燥いちじく」や「ネギ」などを、調理後に、より美味しく風味をキープ出来るかが勝負所であり、達成すれば、より質の向上に繋がるため妥協せず開発していきたい。 ・ スタートは「いちじく」だが、今後中間市の農作物を使ったラーメンを第2弾、第3弾と開発できたらと考えている。

2 生産能力

完成後の 生産能力見込み	製造機器については、1,000食/日を製造する能力を有しているが、当面は需要の状況を注視し200食/日からスタートしたい。 また、材料となる「いちじく」の仕入を安定させるため、数件の農家様と現在も交渉中である。
-----------------	---

3 販売戦略

見込まれる販路、 販売促進方法など	販路については、現在の主力商品の販路であるスーパーや道の駅などで販売するが、「日常食」ではなく「特産品」であることを鑑み、ふるさと納税返礼品への登録も視野に入れながら、ネット販売や、SNSでの広告など、各種の販売促進にも力を入れていきたい。
----------------------	---

4 事業計画（実施スケジュール（完成予定時期及び販売開始予定時期を含む。））

実施予定時期	実施予定内容
令和●年●月上旬	導入機械の仕様決定および発注、商品パッケージの製作の発注
令和●年●月下旬	乾燥機納品（支払）
令和●年●月	パッケージデザイン完成、支払
令和●年●月	いちじくラーメン完成予定
令和●年●月	ふるさと納税返礼品に登録

《裏面有》

5 補助対象経費の内容（品名、型番、数量、金額等）及び用途

対 象 経 費	品名、型番、数量、金額等	用 途
原 材 料 費	・ 中間市産いちじく 100kg 金額20万円 ・ 乾 燥 麺 100kg 金額10万円	特産品のサンプル作成の為の材料費
機 械 装 置 費	・ 乾燥機 (株)●●● 型式▲▲▲ 金額600万円 ・ 充填包装機 (有)●●● 型式▲▲▲ 金額800万円	麺の乾燥に使用 粉末スープを自動で定量ずつ小袋に入れる必要があると共に、ラーメンを袋に詰める際に使用。
工 具 器 具 費	無し	
需 用 費	商品パッケージ ○○デザイン(株) 金額70万円	お客様の目を引き、中間市の特産品としてアピールできる商品パッケージを作成するための印刷製本費。
そ の 他 の 経 費	無し	

6 特産品の開発を通じ、中間市を活性化させるための考えなど

弊社は中間市で数十年間、主に日常食としての冷凍食品製造をメインとして事業を展開しており、中間市民の皆様の協力のもと成長して参りました。 以前から、企業として地域の為に何か出来ないかを模索していたところ、今回の補助金事業を受け、特産品開発に挑戦することで、地域に貢献することを決意いたしました。 第1弾として、中間市の「いちじく」を使用した特産品を誕生させ、その後は第2弾、第3弾と継続して開発し、土産品や、ふるさと納税の返礼品の充実に貢献すると共に、中間市の知名度も共に向上させることが出来たらと考えています。 地元企業として特産品を開発することで中間市の活性化を促し、中間市民の皆様にも愛される企業として、共に成長していきたいと考えています。
--

《裏面有》

高付加価値化等事業実施計画書

(補助率2/3、補助限度額100万円)

(実施目的に☒ 高付加価値化 ☒ 量産体制の構築)1 高付加価値化等の内容（上記☒の内容を記入してください。）

既存の商品の概要	名称：速攻国産たこ焼きの匠 概要：冷凍たこ焼き ※一袋30個入り
高付加価値化等の内容	高付加価値化 日本一と言われる兵庫県明石産のたこを使用することで、従来のたこ焼きより食感と味が格段によくなり、顧客満足度が高まる。
	量産体制の構築 既存の商品である「冷凍たこ焼き」の生産能力が不足しているため、量産体制を構築する為「たこ焼き」を焼くプレートを増設したい。

2 生産能力

完成後の生産能力見込み	たこ焼きプレート100個焼きプレート×10枚を増設することにより、現在の生産能力が1サイクルあたり、1,000個から倍の2,000個の製造が可能となり、結果20,000個／日の生産能力が見込める。
-------------	--

3 販売戦略

見込まれる販路、販売促進方法など	販路については、現在は、スーパーや道の駅などで販売するが、倍の生産能力が得られれば、今後はネット販売や、SNSでの広告など、各種の販売促進にも力を入れていきたい。
------------------	---

4 事業計画(実施スケジュール)

実施予定時期	実施予定内容
令和●年●月	たこ焼きプレートの仕様決定および発注
令和●年●月	たこ焼きプレート納品（支払）
令和●年●月	量産体制の構築完了

《裏面有》

5 補助対象経費の内容（品名、型番、数量、金額等）及び用途

対 象 経 費	品名、型番、数量、金額等	用 途
原 材 料 費	明石産たこ 20Kg 10万円	たこ焼きの高付加価値化
機 械 装 置 費	無し	
工 具 器 具 費	たこ焼きプレート (株)●●● 型式▲▲▲ 100個焼きプレート×10枚 金額110万円	たこ焼きを焼くプレートの増設 による量産体制の構築
需 用 費	無し	
そ の 他 の 経 費	無し	

6 特産品の開発を通じ、中間市を活性化させるための考えなど

弊社は中間市で数十年間、主に日常食としての冷凍食品製造をメインとして事業を展開しており、中間市民の皆様の協力のもと成長して参りました。
以前から、企業として地域の為に何か出来ないかを模索していたところ、今回の補助金事業を受け、既存の商品である冷凍たこ焼きの高付加価値化及び量産体制の構築により、経営基盤の安定と更なる向上を図りながら、将来は原材料を中間市産に切り替え、独創的な具材の入ったたこ焼きの研究など、特産品開発に繋げていこうと考えております。
地元企業として特産品を開発することで中間市の活性化を促し、中間市民の皆様にも愛される企業として、共に成長していきたいと考えています。

《裏面有》

別記第4号様式（第8条関係）

中間市特産品開発等事業補助金収支予算書

1 収入

（単位：円）

補助対象事業	区 分	予算額 (事業費)	備 考 (内訳等)
特産品開発事業	自己資金	4,000,000	
	本補助金	6,000,000	
	他の補助等	5,000,000	
	計	15,000,000	
高付加価値化等事業	自己資金	400,000	
	本補助金	800,000	
	他の補助等	0	
	計	1,200,000	

2 支出

（単位：円）

補助対象事業	区 分	予算額 (事業費)	備 考 (内訳等)
特産品開発事業	原材料費	300,000	
	機械装置費	14,000,000	乾燥機：6,000,000 充填包装機：8,000,000
	工具器具費	0	
	需用費	700,000	
	その他の経費	0	
	計	15,000,000	
高付加価値化等事業	原材料費	100,000	明石産たこ：100,000
	機械装置費	0	
	工具器具費	1,100,000	たこ焼きプレート：1,100,000
	需用費	0	
	その他の経費	0	
	計	1,200,000	

別記第5号様式（第8条関係）

同意書兼誓約書

私は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号の暴力団若しくは同条第6号の暴力団員又はこれらの者と密接な関係を有する者に該当しないことを誓約し、併せて、このことについて、中間市が必要に応じ、福岡県折尾警察署に照会することに同意します。

また、下記のとおり誓約します。

記

次の事項を確認し、□に✓を入れてください。

- ☒ 交付申請書その他の提出書類の内容は、全て事実と相違ありません。
- ☒ 補助金の交付後に中間市特産品開発等事業補助金交付要綱（令和6年中間市告示第162号）第15条第1項各号に掲げる場合に該当するときは、補助金の返還に応じます。

令和●年●月●日

中間市長 様

住所 中間市中央●丁目●番●号

企業名又は法人名 中間開発株式会社

代表者職氏名 代表取締役 商工 太郎

代表者住所 北九州市八幡西区●町●丁目●番●号

生年月日 昭和●●年●●月●●日



中間開発株式会社
代表取締役 商工 太郎 様

●中●建●商●第●●●号
令和●●年●●月●●日

中間市長 ●● ●●

市長

中間市特産品開発等事業補助金（交付）不交付）決定通知書

令和●●年●●月●●日付けで交付申請のあった中間市特産品開発等事業補助金について、中間市特産品開発等事業補助金交付要綱第10条の規定により、下記のとおり決定したので通知します。

記

1 特産品開発事業

- (1) 決定区分 (交付) ・ 不交付
- (2) 補助金交付決定額 6,000,000 円
- (3) 補助金交付条件 特産品を完成させること
- (4) 決定理由 特産品となり得ると判断した為

2 高付加価値化等事業

- (1) 決定区分 (交付) ・ 不交付
- (2) 補助金交付決定額 800,000 円
- (3) 決定理由 量産体制の構築となり得ると判断した為

3 中間市特産品開発等事業補助金交付決定額合計 6,800,000 円

令和●年●●月●●日

中間市長 様

住所 中間市中央●丁目●番●号
申請者 企業名又は法人名 中間開発株式会社
代表者職・氏名 代表取締役 商工 太郎



変更申請時

中間市特産品開発等事業補助金 (変更・中止) 承認申請書

令和●年●●月●●日付け●中建商第●●号で交付決定通知のあった中間市特産品開発等事業補助金について、下記のとおり補助事業を (変更・中止) したいので、中間市特産品開発等事業補助金交付要綱第12条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 補助金の名称 中間市特産品開発等事業補助金
(変更・中止) したい補助対象事業の□に✓を入れてください。
☒ 特産品開発事業 □ 高付加価値化等事業
- 2 補助金の交付申請額
変更前 6,000,000 円
変更後 5,000,000 円
- 3 変更の内容 乾燥機の仕様を変更した。
- 4 変更の理由 乾燥機がオーバースペックだったためダウングレードしたい。
- 5 添付書類
(1) 中間市特産品開発等事業補助金交付申請書（別記第1号様式）
(2) 特産品開発事業実施計画書（別記第2号様式）
(3) 高付加価値化等事業実施計画書（別記第3号様式）
(4) 中間市特産品開発等事業補助金収支予算書（別記第4号様式）

注1 交付申請時に提出した様式を用い、変更箇所を見え消しすること。

注2 (2) 及び (3) は、変更する補助対象事業分について添付すること。

別記第 8 号様式（第12条関係）

中間開発株式会社

代表取締役 商工 太郎 様

● 中 建 商 第 ● ● 号
令和 ● 年 ● ● 月 ● ● 日

中間市長 ● ● ● ●

市長

中間市特産品開発等事業補助金（変更・中止）（承認 不承認） 通知書

令和 ● 年 ● ● 月 ● ● 日付けで申請された中間市特産品開発等事業補助金の補助事業の（変更 中止）について、中間市特産品開発等事業補助金交付要綱第12条第 2 項の規定により、下記のとおり決定したので通知します。

記

1 特産品開発事業

（1） 決定区分 変更承認 ・ 中止承認 ・ 不承認

（2） 変更後の補助金の額 5,000,000 円

（3） 補助金交付条件 特産品を完成させること

（4） 決定理由 変更理由を正当と判断した為

2 高付加価値化等事業

（1） 決定区分 変更承認 ・ 中止承認 ・ 不承認 変更なし

（2） 変更後の補助金の額 800,000 円

（3） 決定理由

中間市長 様

住所 中間市中央●丁目●番●号
企業名又は法人名 中間開発株式会社
代表者職・氏名 代表取締役 商工 太郎



中間市特産品開発等事業補助金実績報告書兼請求書

令和●年●●月●●日付け●中建商第●●号をもって交付決定通知のあった中間市特産品開発等事業補助金について、下記のとおり補助事業を実施したので、中間市特産品開発等事業補助金交付要綱第13条の規定により、関係書類等を添えて報告します。なお、額の確定後は、当該確定額を請求しますので、確定額を下記2の口座に振り込んでください。

記

1 中間市特産品開発等事業補助金交付決定額又は変更決定額

- ・ 特産品開発事業分 5,000,000 円
- ・ 高付加価値化等事業分 800,000 円

合計額 5,800,000 円

2 補助金の振込先

金融機関名	支店名	口座種類	口座番号
●●●●銀行	●●●●支店	普通	●●●●●●●●
口座名義	(カナ) ナカマカイハツ(カ ダイヒョウトリシマリヤク ショウコウタロウ		
	中間開発株式会社 代表取締役 商工 太郎		

3 添付書類等

- (1) 中間市特産品開発等事業補助金収支決算書（別記第10号様式）
- (2) 特産品開発事業成果報告書（別記第11号様式）
- (3) 高付加価値化等事業成果報告書（別記第12号様式）
- (4) 領収証その他の補助対象経費に係る支出を証明する書類の写し
- (5) 機械装置、工具器具等の写真等の書類又は成果品その他の当該補助事業の成果を示すもの

注 (2) 及び (3) は、交付決定を受けた補助対象事業分について添付すること。

別記第10号様式（第13条関係）

中間市特産品開発等事業補助金収支決算書

1 収入

申請時又は
変更申請後

(単位：円)

補助対象 事業	区 分	予算額	決算額	増減	備 考 (内訳等)
特産品開発事業	自己資金	1,667,000	1,767,000	+100,000	原材料費増加
	本補助金	5,000,000	5,000,000	0	変更申請有
	他の補助等	5,000,000	5,000,000	0	
	計	11,667,000	11,767,000	+100,000	
高付加価値化等事業	自己資金	400,000	400,000	0	
	本補助金	800,000	800,000	0	
	他の補助等	0	0	0	
	計	1,200,000	1,200,000	0	

2 支出

(単位：円)

補助対象 事業	区 分	予算額	決算額	増減	備 考 (内訳等)
特産品開発事業	原材料費	300,000	400,000	+100,000	原材料費増加
	機械装置費	10,667,000	10,667,000	0	変更申請有
	工具器具費	0	0	0	
	需用費	700,000	700,000	0	
	その他の経費	0	0	0	
	計	11,667,000	11,767,000	+100,000	
高付加価値化等事業	原材料費	100,000	100,000	0	
	機械装置費	0	0	0	
	工具器具費	1,100,000	1,100,000	0	
	需用費	0	0	0	
	その他の経費	0	0	0	
	計	1,200,000	1,200,000	0	

別記第11号様式（第13条関係）

特産品開発事業成果報告書
（補助率3/4、補助限度額600万円）

1 特産品の概要

開 発 し た （ 開 発 中 の ） 特 産 品 の 概 要	名称： いちじくラーメン 規格： 1袋あたり内容量●g（うち、いちじく●g） 販売価格： 200円 販路： スーパー、コンビニエンスストア等 今後、通信販売等、販路を広げていく。 ターゲット： 健康志向の働く女性
補助事業の実施による成果及び効果	本補助金を利用し金銭的リスクが減ったことで、開発に専念でき、成果を上げられた。 袋ラーメンとしては少し高いが、更なる開発を続け健康志向の時代に合った商品として、中間市の特産品となり得るよう販売促進に努めたい。
今 後 の 展 望 （進捗状況を含む。）	販路拡大等 自社SNS（インスタグラム）を活用した情報発信、PRチラシの作成し、半年ほど経過したタイミングで購入者へのアンケートを実施し、商品の改良や生産規模を拡大した上で、将来的には全国の百貨店や土産店での常設商品を目指すと共に通信販売も開始したい。

2 補助対象経費の実績（品名、型番、数量、金額等）

原 材 料 費	中間市産いちじく 100kg 金額25万円 乾燥麺 100kg 15万円
機械装置費	・乾燥機 (株)●●● 型式▲▲▲ 金額166万7千円 ・充填包装機(有)●●● 型式▲▲▲ 金額800万円
工具器具費	無し
需 用 費	商品パッケージ ○○デザイン(株) 金額70万円
そ の 他 の 経 費	無し

3 今後の事業展開スケジュール（完成予定時期及び販売開始予定時期を含む。）

実施予定時期	実施予定内容
令和●年●月	パッケージデザイン完成, 支払
令和●年●月	いちじくラーメン完成予定
令和●年●月	ふるさと納税返礼品に登録
令和●年●月	SNS等での広告及びネット販売開始

別記第12号様式（第13条関係）

高付加価値化等事業成果報告書

（補助率2/3、補助限度額100万円）

（実施目的に☒ 高付加価値化 ☒ 量産体制の構築）1 高付加価値化等の結果（上記☒の内容を記入してください。）

高付加価値化又は量産体制の構築による今後の生産量増加数等

明石産たこを使用することで顧客の注目度も高まり、たこ焼きの食感や味も格段に向上し、収益増が見込まれる。
 また、たこ焼きプレート100個焼きプレート×10枚を購入したことで、現在の生産能力が1サイクルあたり、1,000個から倍の2,000個の製造が可能となり、結果20,000個／日の生産能力が見込めるようになり、収益増も見込める。

2 補助対象経費の実績（品名、型番、数量、金額等）

原 材 料 費	明石産たこ 20Kg 10万円
機械装置費	無し
工具器具費	たこ焼きプレート (株)●●● 型式▲▲▲ 100個焼きプレート×10枚 金額110万円
需 用 費	無し
そ の 他 の 経 費	無し

3 補助対象経費の効果

高付加価値化又は量産体制の構築による今後の展望等（販路拡大等）

たこ焼きの高付加価値化及び量産体制の構築により売り上げを伸ばし、今後、冷凍方法も研究しながら、より良いものをお客様に提供し、将来は小麦粉等他の材料も中間市産に切り替えるなど、地域に貢献できる企業となるよう努めたい。

4 今後の事業展開スケジュール

実施予定時期	実施予定内容
令和●年●月	自社SNS（Instagram）を活用した情報発信
令和●年●月	スーパー、コンビニエンスストア等への納品数の倍増
令和●年●月	SNS等での広告及びネット販売開始

別記第13号様式（第14条関係）

中間開発株式会社
代表取締役 商工 太郎 様

● 中 建 商 第 ● ● 号
令和 ● 年 ● ● 月 ● ● 日

中間市長 ● ● ● ●



中間市特産品開発等事業補助金額確定通知書兼交付通知書

令和 ● 年 ● ● 月 ● ● 日付けで提出された中間市特産品開発等事業補助金実績報告書兼請求書について、中間市特産品開発等事業補助金交付要綱第14条第2項の規定により、下記のとおり補助金の額が確定したので通知します。
また、確定額について下記のとおり交付しますので、併せて通知します。

記

補助金の確定額	
特産品開発事業分	5,000,000 円
高付加価値化等事業分	800,000 円
合計額	5,800,000円

振込予定日： 令和 ● 年 ● ● 月 ● ● 日

振込先：中間市特産品開発等事業補助金実績報告書兼請求書（別記第9号様式）
に記載の口座

